

Ⅲ 「継続一人っ子家族」と「若年一人っ子家族」・「複数子家族」の実態と意識

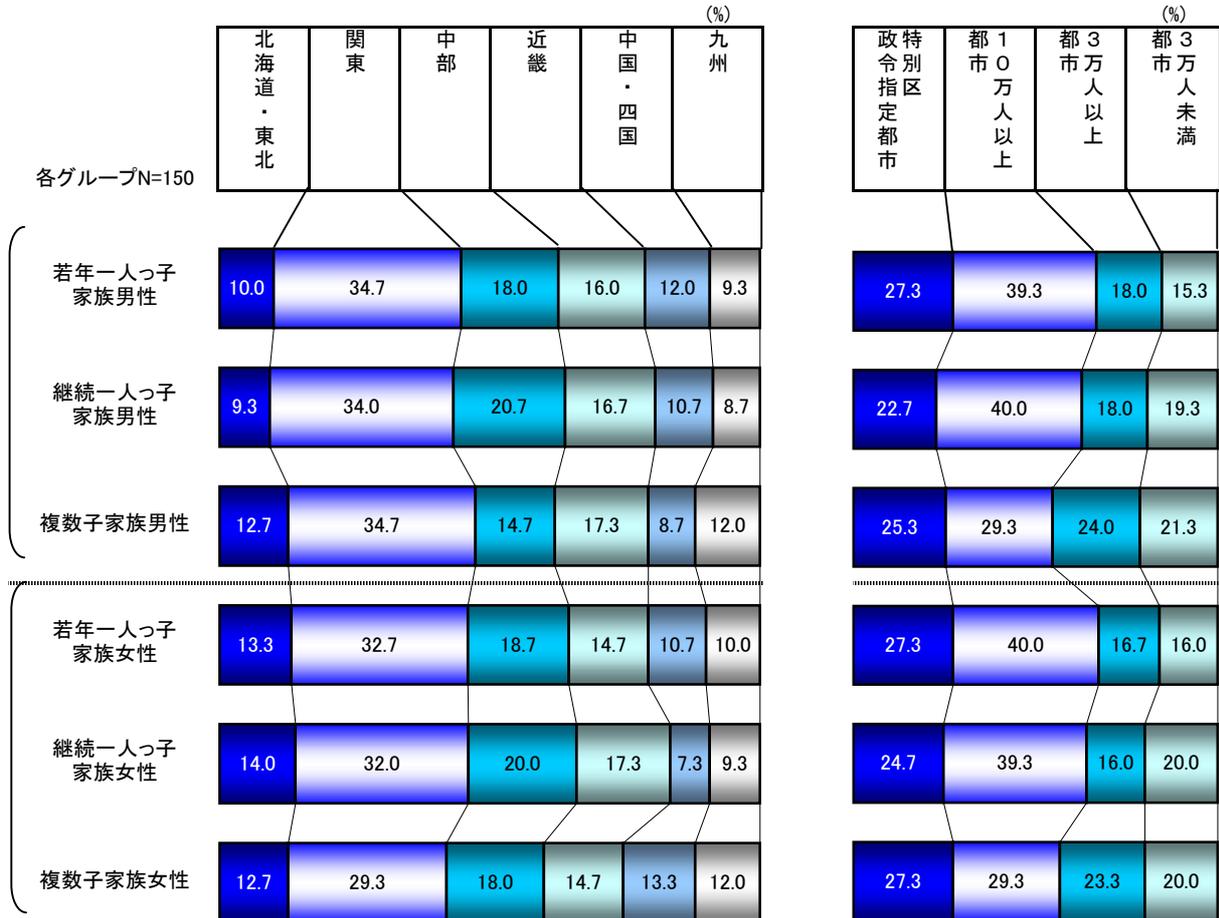
1. 回答者基本属性

1-1. 居住地域

回答者の居住地域は、概ねどのグループも「関東」が3割強を占め、「中部」と「近畿」が1割強から2割前後となっている。

都市規模別の分布を見ると、男女とも複数子家族では「10万人以上都市」の居住者が他グループに比べ少ない。

図表1-1. 居住地域(単数回答)(基数:全体)



1-2. 年齢(FS1)

【男性】

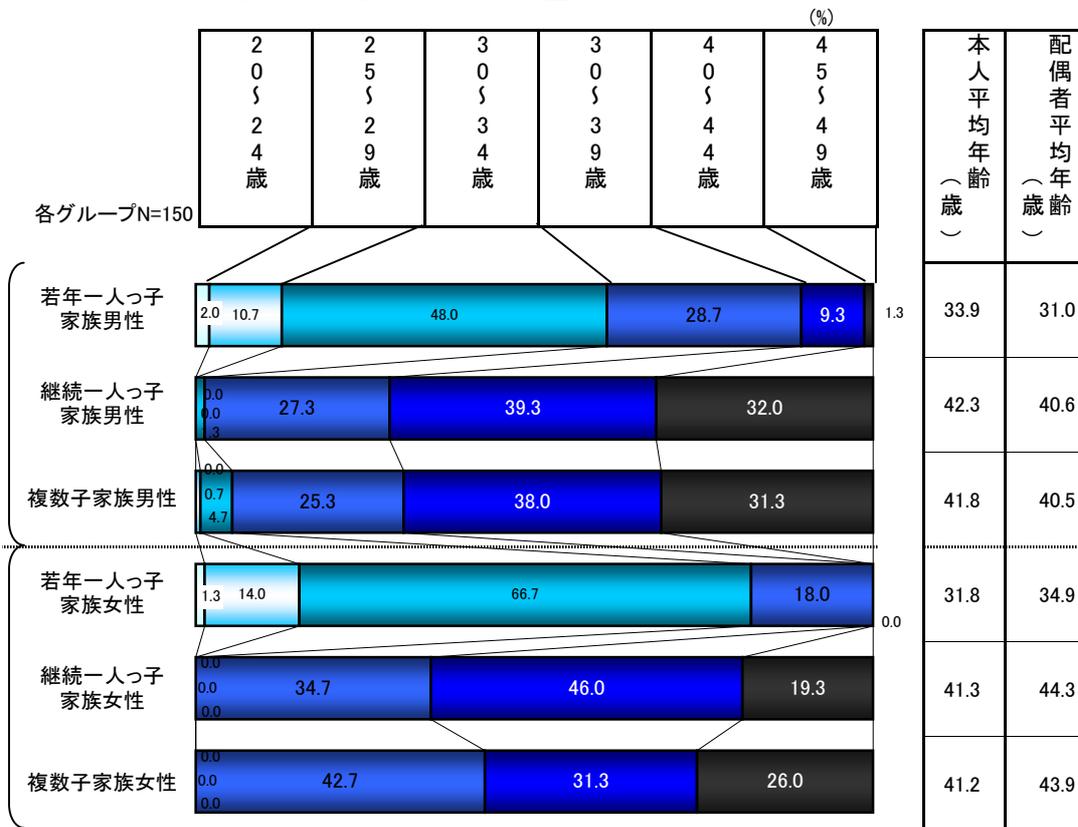
【若年一人っ子家族】の本人年齢は30代が76.7%を占めるが、【継続一人っ子家族】では40代が71.3%、【複数子家族】でも69.3%を占めている。平均年齢も【若年一人っ子家族】より8歳ほど高い。

【女性】

【若年一人っ子家族】の本人年齢は30代前半が66.7%を占めるが、【継続一人っ子家族】および【複数子家族】では、男性同様40代が多い。平均年齢は10歳の開きがある。

なお、本人と配偶者の年齢の開きは男女とも【若年一人っ子家族】が大きい。

図表1-2. 年齢(単数回答)(基数:全体)



1-3. 住居形態(FS6)

【男性】

【若年一人っ子家族】の持ち家率は62.0%、【継続一人っ子家族】(78.6%)、【複数子家族】(81.4%)に比べ低く、年齢要因が大きいことがうかがえる。

【女性】

女性の場合も同様の傾向がある。

1-4. 学歴(FS3)

【男性】

「大学および大学院卒」の比率は【若年一人っ子家族】では30.7%に留まり、【継続一人っ子家族】(41.3%)および【複数子家族】(37.3%)に比べ低い。

【女性】

男性に比べ、「大学および大学院卒」の比率は低い。特に、【複数子家族】では、10.0%に留まっている。

図表1-3. 住居形態(単数回答)(基数:全体)

図表1-4. 最終学歴(単数回答)(基数:全体)

